

日本語教員試験試行試験 結果の概要

1. 実施概要

1-1. 試行試験の目的

令和 6 年度以降に実施する『日本語教員試験』の実施に向けて、試験の運営・実施を通して明らかになる課題の改善、試験問題の開発・分析・改善等を目的として実施するもの。

※試行試験は上述の目的で実施するものであるため、日本語教育を行うために必要な知識及び技能の有無を判定するものとしての妥当性・信頼性が保証されたものではない。

1-2. 実施日程等

日時：令和 5 年 12 月 10 日（日）

場所：仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の 5 か所

協力者数（受験者数）：1,242 名

仙台：47 名、東京：667 名、名古屋：130 名、大阪：289 名、福岡：109 名

1-3. 試行試験の構成

<基礎試験>

言語そのものや言語教育、世界や日本の社会と文化等、日本語教育を行うために必要となる 3 領域 5 区分 15 下位区分及び 50 項目の必須の教育内容に含まれる基礎的な知識及び技能を有するかどうかを測定する試験とする。

<応用試験>

出題範囲が複数の領域・区分にまたがる横断的な設問により、実際に日本語教育を行う際の現場対応や問題解決を行うことができる基礎的な知識及び技能を活用した問題解決能力を測定する試験とする。

	試験時間	出題数	出題形式	配点
基礎試験	120 分	100 問	選択式	1 問 1 点 (計 100 点)
応用試験	聴解：45 分 読解：120 分 (休憩 45 分あり)	聴解：50 問 読解：60 問	選択式	1 問 2 点 (計 220 点)

資料 4

2. 協力者の内訳

総数	1,242 名
現職日本語教師（教師歴 3 年以上）	417 名
現職日本語教師（教師歴 3 年未満）	295 名
養成課程等在籍者（後期）※ 1	393 名
養成課程等在籍者（前期）※ 2	137 名

※ 1 大学等日本語教員養成課程の学部 3・4 年若しくは修士課程の学生又は文化庁届出受理日本語教員機関の養成研修を修了直後若しくは修了間際の者

※ 2 大学等日本語教員養成課程の学部 1 年の学生又は文化庁届出受理日本語教員機関の養成研修を受講し始めたばかりの者若しくは受講予定者

3. 結果の概要

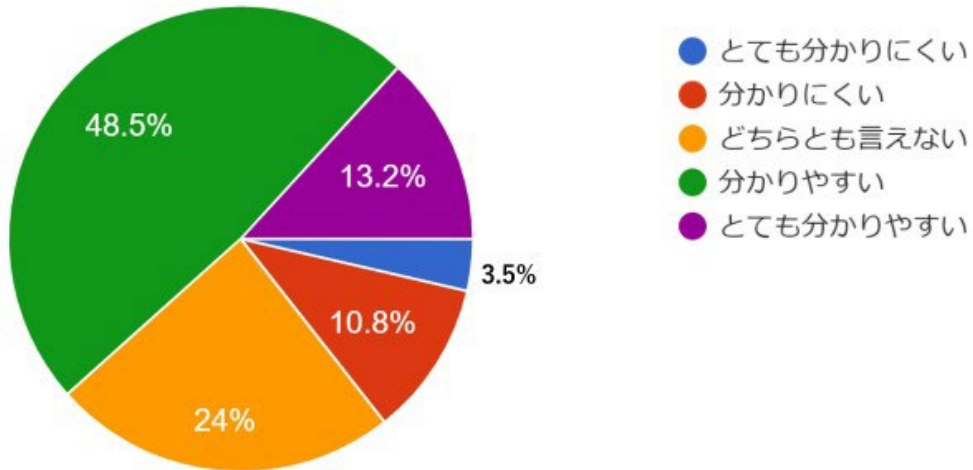
協力者属性	試験区分	平均点	最高点	最低点	標準偏差
全体	基礎試験（100 点）	66.97	95	29	11.66
	応用試験（220 点）	148.74	206	62	24.92
現職日本語教師 （教師歴 3 年以上）	基礎試験（100 点）	70.69	95	30	11.50
	応用試験（220 点）	159.67	206	76	22.52
現職日本語教師 （教師歴 3 年未満）	基礎試験（100 点）	65.78	88	37	9.91
	応用試験（220 点）	148.12	192	84	21.08
養成課程等在籍者 （後期）	基礎試験（100 点）	65.94	92	29	11.52
	応用試験（220 点）	143.10	194	70	24.58
養成課程等在籍者 （前期）	基礎試験（100 点）	61.22	87	33	12.63
	応用試験（220 点）	132.99	188	62	26.57

4. アンケート結果

試験の運営等に関し、協力者に対して実施したアンケート調査の結果は以下の通りである。

1. 試験システムについて

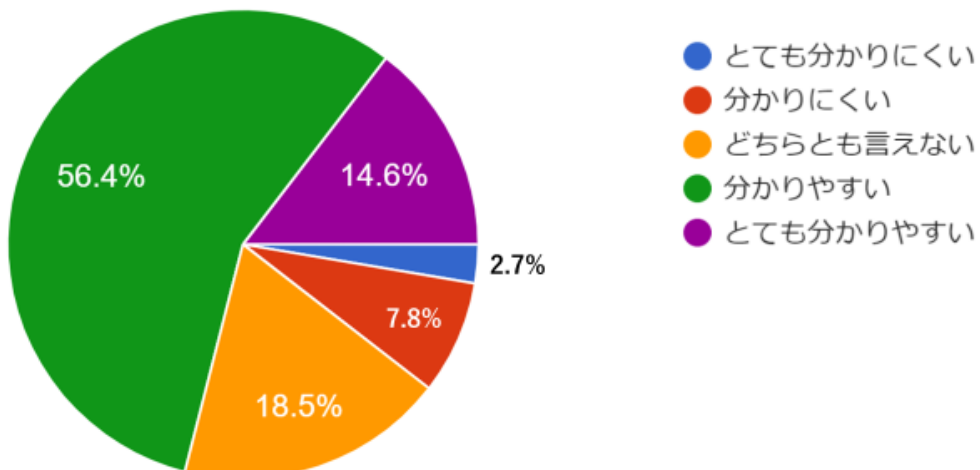
1. 試験システムによる受験申込は分かりやすかったですか？



n=1235

1. 試験システムについて

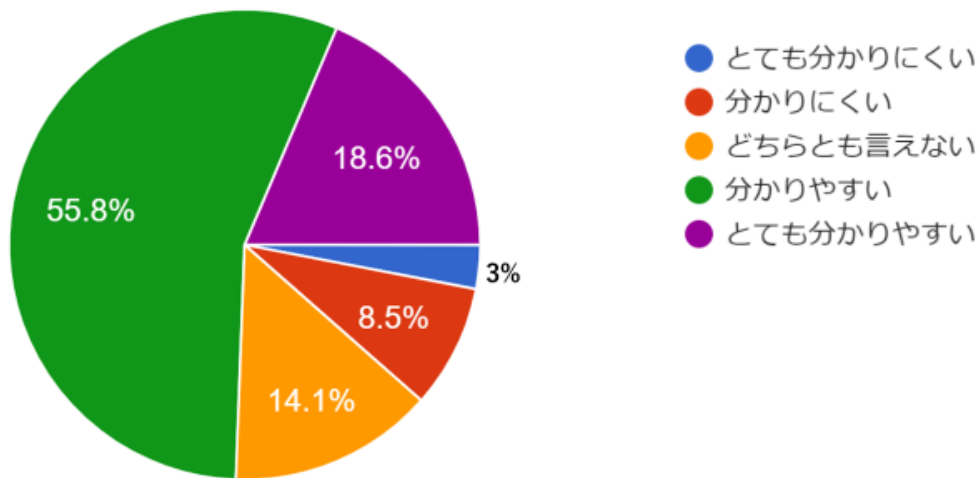
2. 写真データのアップロードは分かりやすかったですか？



n=1235

1. 試験システムについて

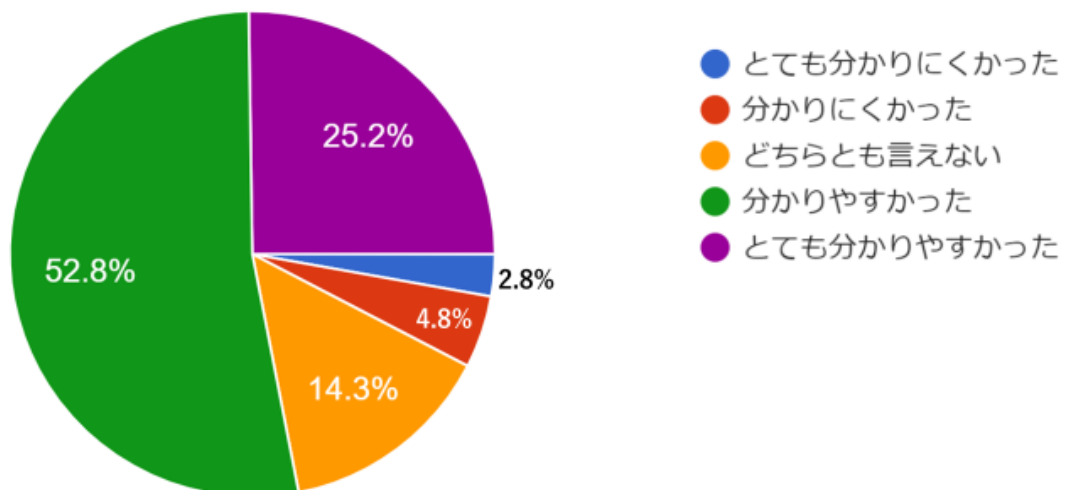
3. マイページでの試験会場確認・受験票の印刷は分かりやすかったですか？



n=1235

2. 運営面について

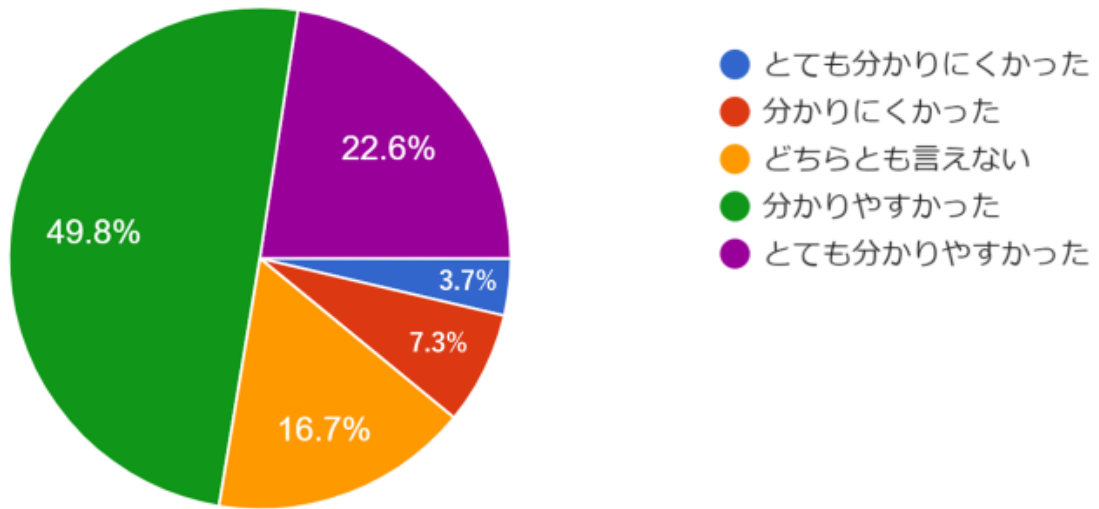
1. 試験室の自席までの案内表示やスタッフによる誘導は分かりやすかったですか？



n=1230

2. 運営面について

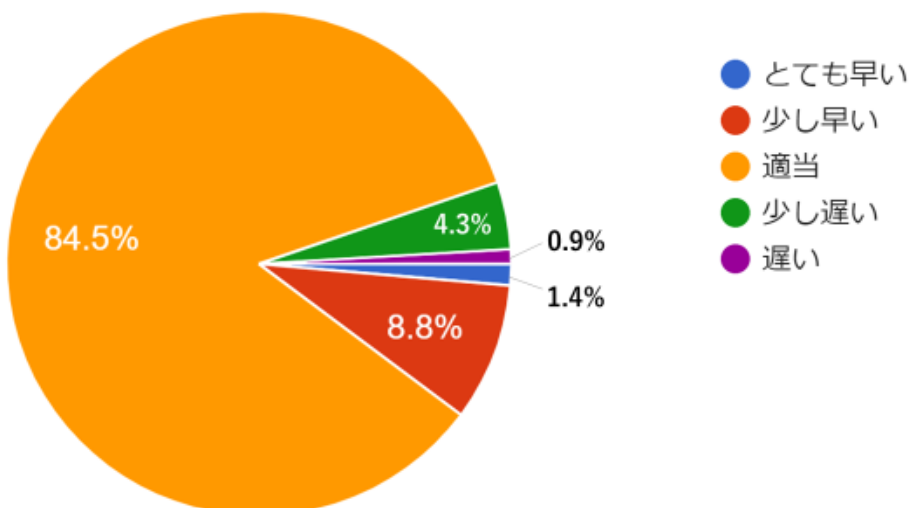
2. 試験室でのスタッフによる説明や指示は分かりやすかったですか？



n=1230

2. 運営面について

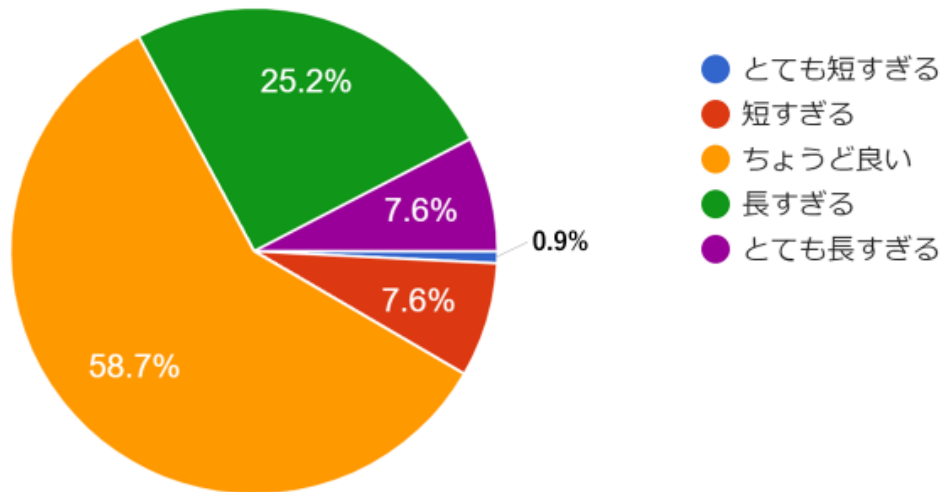
3. 試験の開始時間は適当でしたか？



n=1229

3. 問題について

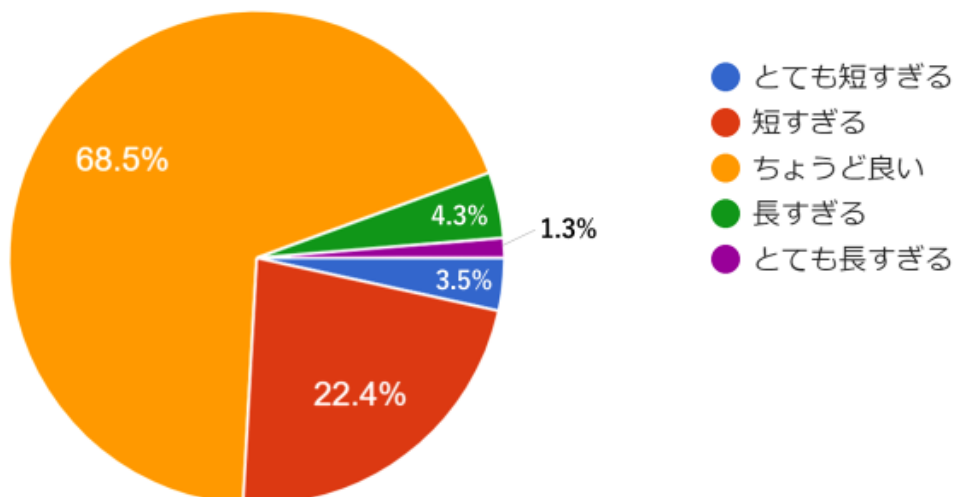
1. ① 基礎試験 試験の問題数に比して解答時間の長さはどうでしたか？



n=1230

3. 問題について

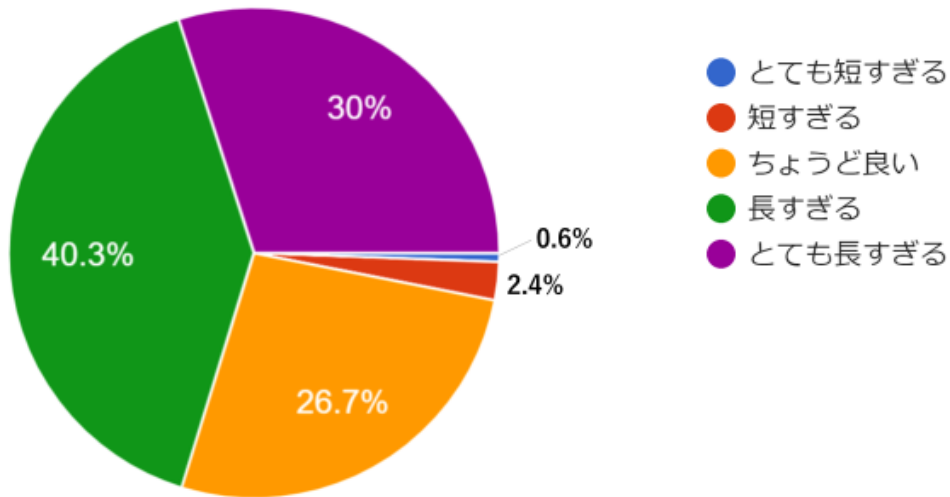
1. ② 応用試験1(聴解) 試験の問題数に比して解答時間の長さはどうでしたか？



n=1230

3. 問題について

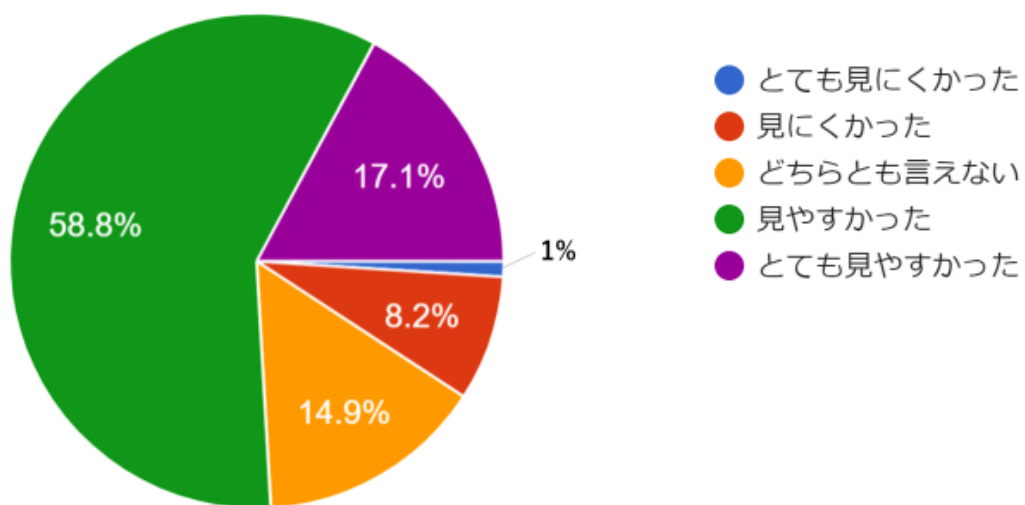
1. ③ 応用試験2 試験の問題数に比して解答時間の長さはどうでしたか？



n=1230

3. 問題について

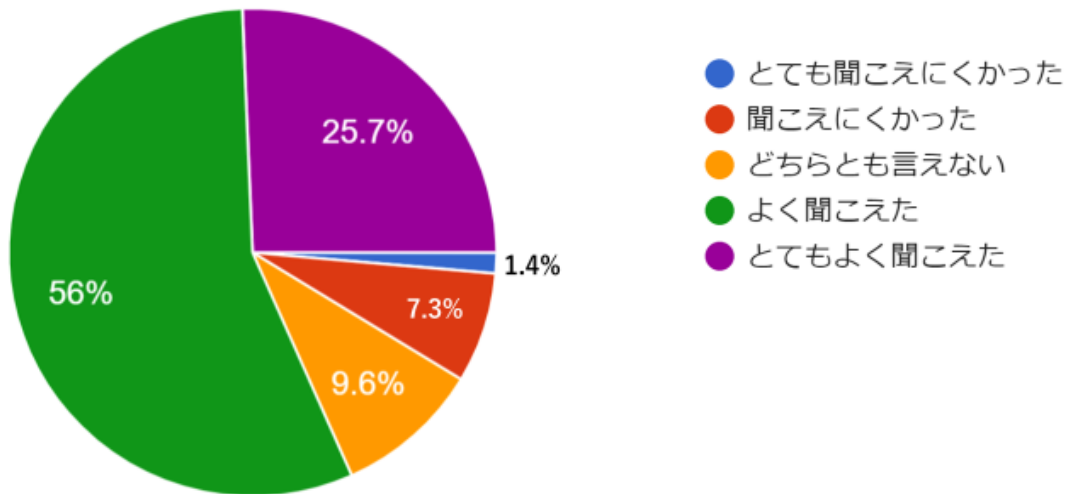
2. 問題用紙のレイアウトは見やすかったですか？



n=1230

3. 問題について

3. 応用試験1（聴解）の音声はよく聞こえましたか？



n=1230

5. サンプル問題

サンプル問題として、試行試験に出題された問題の一部を以下の通り公開する。

基礎試験

問題1 次の(1)～(8)について、【 】内に示した観点から見て、他と性質の異なるものを、それぞれ1～4の中から一つずつ選べ。

(5) 【接尾辞「化」の意味】

- 1 情報化
- 2 有料化
- 3 自由化
- 4 義務化

問題2 次の(1)～(6)の問いに答えよ。

(4) 次の文章中の空欄 (ア) に入れるのに最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

文部科学省が令和3年度に実施した「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」によると、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数は4万7千人以上にのぼる。これらの児童生徒を言語別に見ると、(ア) 母語話者が最も多い。

- 1 中国語
- 2 ベトナム語
- 3 フィリピン語
- 4 ポルトガル語

問題3 次の(Ⅰ)～(Ⅲ)の問いに答えよ。

(3) 言語学習において、学習者は学習を促進するための様々なストラテジー(方略)を用いられると言われている。このような学習ストラテジーのうち「メタ認知ストラテジー」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 教師に質問し説明を求める。
- 2 テキストの文脈から意味を推測する。
- 3 学習計画を立てて、随時進捗を確認する。
- 4 目的に応じた聞き方や読み方を選択する。

(9) コミュニケーション・ストラテジーの一つであるコード・スイッチングが起こっているとは言えない例を、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 ダイグロシア社会において、二人の話者がそれぞれ別の言語を話しているが、コミュニケーションが成り立っている。
- 2 バイリンガル話者の中にモノリンガル話者が一人含まれている会話において、話の途中でバイリンガル話者がモノリンガル話者の理解できない言語で話し始めた。
- 3 マルチリンガル話者が一つの言語でスピーチをしていたが、民族のアイデンティティを示すために途中で別の言語で話し始めた。
- 4 友人同士が地域で日常的に使用する方言で話していたとき、一人がもう一人に頼み事をしたが、相手は方言ではなく公的に使われている共通語を使って断った。

問題13 次の文章を読み、後の問い（問1～5）に答えよ。

実際に日本語の授業を実施する際には、コースデザインを行う。調査・分析の段階では、学習者や教師、学習環境について把握することが重要である。コース目標の設定、aシラバスやカリキュラムデザインに関わるためである。

近年、文化庁によってb「日本語教育の参照枠」が策定され、その使い方の手引が取りまとめられた。そこでは、c行動中心アプローチの考え方に基づく言語能力記述文（Can do）をベースとしたカリキュラムデザインの考え方として、dバックワード・デザイン（逆向き設計）が紹介されている。日本語教師には学習者の目的・目標に合った内容と教え方を選ぶこと、学習目標の達成状況を確認するための評価方法を定めることが求められる。学習目標の到達度を評価する方法には、「言語知識を測るテスト」、e「パフォーマンス評価」などがある。

問1 文章中の下線部a「シラバス」とその特徴の説明として**不適当なもの**を、次の1～4の中から一つ選べ。

シラバス	特徴
1 機能シラバス	「読む」「書く」「話す」「聞く」を中心にさらに細かく分類して学習項目を一覧にしたもの。
2 構造シラバス	文型や文法を中心に易しいもの、単純なものから難しいもの、複雑なものへと体系的に整理して学習項目を一覧にしたもの。
3 話題シラバス	学習者の興味・関心や社会情勢に応じて話題を決め、話題に関する語彙や表現などを一覧にしたもの。
4 課題シラバス	何かの課題の達成のために必要な文型や、語彙、社会文化的知識、技能等を一覧にしたもの。

問2 文章中の下線部b「日本語教育の参照枠」に関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 4技能について、バランスよく能力を伸ばすことが望ましいとされている。
- 2 漢字に関しては、常用漢字表を基にレベル別の基礎漢字の目安が示されている。
- 3 言語能力記述文では「母語話者」ではなく、「熟達した日本語話者」が使われている。
- 4 「特定技能」の資格等で来日する人に求められる基礎的なコミュニケーション力を育成する。

問3 文章中の下線部c「行動中心アプローチ」における言語教育観に関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 母語習得の過程に注目し、教師は沈黙し、学習者の知性の発揮と自立を助ける観察者、助言者となる。
- 2 学習者にとって必要な活動に注目し、学習者が日本語を使ってさまざまな社会的な活動に参加していくことを目指す。
- 3 学習者が話したい内容を自由に話し、話し合い後に、発話の録音を再生し、表現の確認、発音や文法の指導をする。
- 4 媒介語による翻訳を行わず、聴解力を重視し、教師のさまざまな命令や指示を聞いて、学習者が全身で反応するという方法を用いる。

問4 文章中の下線部d「バックワード・デザイン（逆向き設計）」の手順として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 到達目標の決定→評価方法の決定→学習内容と教え方の決定
- 2 到達目標の決定→学習内容と教え方の決定→評価方法の決定
- 3 評価方法の決定→到達目標の決定→学習内容と教え方の決定
- 4 学習内容の決定→到達目標と評価方法の決定→教え方の決定

問5 文章中の下線部e「パフォーマンス評価」に関する記述として**不適当なもの**を、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 学習者にロールプレイやエッセイなどの言語的な課題を与え、その遂行の度合いを評価することができる。
- 2 評価の観点を明示することで、個人的な価値判断による影響を避け、達成すべき目標を学習者と共有することができる。
- 3 単に、「できた・できない」だけの評価だけでなく、「何がどのくらいできたのか」について、多様な観点から評価を行うことができる。
- 4 学習者が創造した作品や評価記録を収集し、それをもとに学習過程をふり返ることで学習成果の評価のツールとして使うことができる。

応用試験Ⅰ(聴解)

問題 1

これから聞く日本語学習者の日本語には、発音、語彙、文法、談話などのさまざまな誤りが含まれています。それぞれの発話の誤りがどのようなになっているか、あるいは、その誤りが何の誤りかについて、最も適切なものを、問題用紙の選択肢 A、B、C、D の中から一つ選んでください。

例

- A /オ\カ/セ ン タ ー ニ シ エ キ
- B /オ\カ セ ン タ ー ニ/シ エ キ
- C オ/カ セ ン\タ ー ニ/シ エ\キ
- D オ/カ セ ン タ ー ニ シ\エ キ

15 番

- A アスペクトの誤り
- B ダイクシスの誤り
- C メトニミーの誤り
- D コロケーションの誤り

問題2

これから、教室での教師と日本語学習者のやりとりなどを聞きます。それぞれについて、問いが複数あります。それぞれの問いの答えとして最も適当なものを、問題用紙の選択肢A、B、C、Dの中から一つ選んでください。(この問題には例がありません)

8番

問1 このような練習方法に最も関連のある教授法は、次のうちどれですか。

- A サイレント・ウェイ
- B コミュニカティブ・アプローチ
- C オーディオリンガル・メソッド
- D コミュニティ・ランゲージ・ラーニング

問2 コミュニケーションで問題が起こらないようにするために、この後、学習するのが望ましい肯定／否定の応答表現は、次のうちどれですか。

- A 「ええ、どうぞ。」／「すみません、ちょっと…」
- B 「～でも大丈夫です。」／「～なくても大丈夫です。」
- C 「どうぞ～てください。」／「いいえ、～てはだめです。」
- D 「はい、～てもいいです。」／「いいえ、～てはいけません。」

問題3

これから、日本語学習者向けの聴解教材などを聞きます。それぞれについて、問いが複数あります。それぞれの問いの答えとして最も適当なものを、問題用紙の選択肢A、B、C、Dの中から一つ選んでください。(この問題には例がありません)

4番

定食メニュー

ア — 刺身定食 1100円

イ — 焼き魚定食 980円

ウ — 焼肉定食 980円

エ — カツ定食 1000円

オ — コロッケ定食 980円

カ — あじフライ定食 980円




ランチ・サービス

キ — コーヒー／紅茶 100円




1 ア キ

2 ウ キ

3 ウ

4 エ

問1 この聴解問題は初級学習者を対象としたものですが、いくつか改善すべき点があります。改善する必要のないことは、次のうちどれですか。

- A 日本の料理についての知識が求められること
- B 答えを導き出すための情報が不足していること
- C メニューに未習の漢字が多く使われていること
- D 会話の途中でスピーチレベルシフトが行われていること

問2 初級授業でこの聴解問題を扱った後に行う活動として最も適当なものは、次のうちどれですか。

- A 聴解素材より丁寧な接客表現を学習者に考えさせる。
- B 外食や定食について、学習者の国の特徴を紹介し合う。
- C 物の値段を8桁まで言えるようになるまで、繰り返し練習する。
- D アルバイト代を上げるよう、食堂の店長に交渉するロールプレイを行う。

応用試験2(読解)

問題7

大学の交換留学生を対象とした日本語会話クラスで、以下のようなロールプレイを実施した。資料1～3を読み、後の問い(問1～5)に答えよ。

〈資料1〉 クラスの概要と使用したロールカード

レベル：中級前半 学習者数：8名

使用したロールカード

【ロールカードA】

あなたは大学の交換留学生です。
来週、両親が日本に来るため、授業を休んで空港へ迎えに行きたいと考えています。先生に欠席することを伝えてください。

【ロールカードB】

あなたは大学の先生です。学生から来週の授業を欠席することを報告されます。理由を聞いて、許可してください。

〈資料2〉 授業のおおまかな流れ

aウォーミング・アップ ⇒ ロールカードを読む(3分) ⇒ ペアで練習する(5分)
⇒ ペアごとに発表し、bクラスで気づいたことをコメントし合う(20分) ⇒ 必要な表現の練習をする(10分) ⇒ もう一度、ペアを変えて発表をする(15分)
⇒ まとめ

〈資料3〉 ある学習者ペアの会話の書き起こし

学習者A(学生)：先生、こんにちは。

学習者B(先生)：こんにちは、Aさん。どうしましたか。

学習者A(学生)：来週、両親が日本に来るため、授業を休んで空港へ迎えに行きたいです。

学習者B(先生)：そうですね。いいですよ。

問1 この授業のように、文型や表現の導入よりも先にロールプレイを行うタイプのロールプレイ（タスク先行型ロールプレイ）の長所として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 既習項目と未習項目の差が見えやすいので、効率的に学習できる。
- 2 決まった表現を使わなくてもよいので、文化的なルールの強制を避けることができる。
- 3 事前に言語項目を練習する必要がないので、学習者の心理的な負担が軽減される。
- 4 「言いたいけれどうまく言えない」というタスクの過程から、表現についての学習者の気づきが促されやすい。

問2 資料2の下線部a「ウォーミング・アップ」として行うのに最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 このロールプレイのモデル会話をまず音声で聞く。
- 2 許可を得る表現「～てもいいですか」の口慣らしを行う。
- 3 ロールプレイの内容に影響しないよう、あえて関係のない話をする。
- 4 授業を休んだ経験やその理由、そのとき先生に事前に話したかなどについて聞く。

問3 この授業で行ったロールプレイの問題点には当たらないものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 学習者Aには身近な状況だが、学習者Bには自分の実際の生活で行う言語行動ではない発話の練習になってしまう。
- 2 ロールカードAには、状況と話す内容しか書かれておらず、どうなれば会話を終わってよいかかわからない。
- 3 ロールカードBにはこれから何が起こり、どう回答すべきなのかが書かれてしまっており、会話の展開を考える余地がほとんどない。
- 4 この状況設定では、「休んでもいいですか」「休ませていただけませんか」「休みたいのですが」など、使用できる表現がいくつか考えられてしまう。

問4 資料2の下線部b「クラスで気づいたことをコメントし合う」について、コメントとそれに対する教師の対応として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 「あのう」や「えーと」といったフィラーが目立ったというコメントに対し、フィラーの適切な量やフィラーの効果などについてクラス全体で考え、2回目の発表に生かすよう促した。
- 2 イントネーションが不自然で怒っているように聞こえるというコメントに対し、音声的な癖は、許可を求めるというこのロールプレイの目的には関係ないとして、気にしなくてよいと励ました。
- 3 欠席することを伝える際に、ポケットに手を入れたままだったことを指摘するコメントに対し、確かに失礼になりかねないが、クラスでは言語についてのコメントに限定しようという方針を全体で共有した。
- 4 声が小さく話し方が大学の先生らしくないというコメントに対し、大学の先生らしい話し方についてクラス全体で考え、2回目の発表では気をつけるように促した。

問5 資料3の学習者ペアの会話の問題点をフィードバックする際、**指摘する必要のないもの**を、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 学習者Aはあいさつの後すぐに許可を求めるのではなく、「今、ちょっといいですか」などの表現を使ったほうがよい。
- 2 学習者Aは一度にすべての要件を伝えるのではなく、まず「来週の授業のことなんですが。」でいったん文を切るなど、いくつかに分けて事情を説明したほうがよい。
- 3 学習者Bはすぐに許可を出すのではなく、学習者Aが「休んでもいいですか」など許可を求める表現を使うまで待ったほうがよい。
- 4 学習者Bの「いいですよ」で会話を終わりにするのではなく、二人がどのように会話を終わらせるのかまでそれぞれ考えたほうがよい。

サンプル問題の解答

●基礎試験

問題1 (5) 【正解】1

問題2 (4) 【正解】4

問題3 (3) 【正解】3

問題3 (9) 【正解】1

問題 13 問1 【正解】1

問題 13 問2 【正解】3

問題 13 問3 【正解】2

問題 13 問4 【正解】1

問題 13 問5 【正解】4

●応用試験1 (聴解)

問題1 15 番 【正解】D

問題2 8番 問1 【正解】C

問題2 8番 問2 【正解】A

問題3 4番 問1 【正解】D

問題3 4番 問2 【正解】B

●応用試験2 (読解)

問題7 問1 【正解】4

問題7 問2 【正解】4

問題7 問3 【正解】4

問題7 問4 【正解】1

問題7 問5 【正解】3

日本語教員試験試行試験 試験実施委員会 委員名簿

(敬称略・五十音順)

いし	くろ	けい	
石	黒	圭	
い	とう	すけ	ろう
伊	東	祐	郎
お	の	まさ	き
小	野	正	樹
か	が	と	み
加	賀	美	常
か	だ	とも	こ
金	田	智	子
きぬ	がわ	たか	お
衣	川	隆	生
こ	ばやし	ミ	ナ
こ	やなぎ	かおる	
小	柳	く	み
さ	だ	久	美
迫	田	久	美
さ	とう	ぐん	えい
佐	藤	郡	衛
しま	だ	のり	こ
島	田	徳	子
すな	かわ	ゆう	いち
砂	川	裕	一
とく	い	あつ	こ
徳	井	厚	子
と	だ	さ	わ
戸	田	佐	和
にし	はら	すず	こ
西	原	鈴	子
の	だ	ひさ	し
野	田	尚	史
はま	だ	ま	り
浜	田	麻	里
ふく	しま	せい	じ
福	島	青	史
ま	じま	じゅん	こ
真	嶋	潤	子
まつ	おか	よう	こ
松	岡	洋	子
まつ	ざき	ひろし	
松	崎	寛	

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所教授

国際教養大学専門職大学院特任教授

筑波大学教授

目白大学教授

学習院大学教授

日本女子大学教授

早稲田大学大学院教授

上智大学教授

広島大学森戸国際高等教育学院特任教授

東京学芸大学名誉教授

武蔵野大学教授

群馬大学名誉教授

信州大学教授

公益社団法人国際日本語普及協会理事長

特定非営利活動法人日本語教育研究所理事長

日本大学グローバル教育研究センター長

京都教育大学教授

早稲田大学大学院教授

大阪大学名誉教授

岩手大学教授

日本大学教授

分析アドバイザー

おお	すみ	あつ	こ
大	隅	敦	子
しま	だ	めぐみ	
島	田	めぐみ	
の	ぐち	ひろ	ゆき
野	口	裕	之

独立行政法人国際交流基金日本語試験センター副主任研究員

日本大学大学院教授

名古屋大学名誉教授